

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4170300497		
法人名	有限会社 喜楽		
事業所名	グループホーム喜楽Ⅱ		
所在地	佐賀県鳥栖市弥生が丘2丁目6番地 (電話) TEL0942-83-885		
評価機関名	社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀市八戸溝1丁目1224番2		
訪問調査日	平成 20年5月27日	評価確定日	平成 20年7月20日

## 【情報提供票より】(平成20年5月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 7.2

### (2) 建物概要

建物構造	木造	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	10,500 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

### (4) 利用者の概要(5月27日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1		名	要介護2	4	名	
要介護3	2	名	要介護4	2	名	
要介護5	1	名	要支援2		名	
年齢	平均	85.7 歳	最低	77 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	古賀内科医院	やよいが丘鹿毛病院	うえまつ歯科	くまもと歯科
---------	--------	-----------	--------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

喜楽Ⅱは、鳥栖市内のJRやよいが丘駅から徒歩数分の距離にある。交通量の比較的多い道路にも面しており、交通の便が良い。幅の広い歩道があるので路側帯と合わせて車道まで距離が保たれ、入居者は安全に往来できる。ホーム近隣は新興地域であるが、周辺は古くからの住民も多い。個々の入居者のペースに合わせたケアが提供されている。健康管理面では内科と外科、2医療機関の協力医があり、歯科も2機関で入居者をサポートするなど、医療関係の支援も重点が置かれている。入居者が、楽しく安全に安心して暮せるよう支援されているグループホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回、入居者の時の見当識に役立てることを期待したいとされていたが、見やすい大きな文字盤時計やカレンダーの活用がなされ、改善されている。行政への事業受託の働きかけの充実をはかることが課題とされていたが、市の担当者や社協と積極的に連絡を取り合い、ホームの実情やケアサービスの取り組みを伝え、協力関係を築かれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価をすることで再度確認をする体制がとられている。月一回のカンファレンスを行うなかで、職員自身の対応の見直しが図られている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>自己評価をすることで再度確認をする体制がとられている。運営推進会議には、施設長、管理者のほか、地域の民生委員、区長等も出席し、サービスの取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。また、鳥栖市の介護保険課と行き来するなどして、連携がはかられサービスの質の向上に取り組まれている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理は、家族等に定期的及び個々に合わせた報告がなされている。家族等が意見、不満、苦情を無記名で言えるよう、苦情箱が設置されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域とのつながりを持つことができるよう、敬老会、行事等の活動に参加し、地元の人々と交流する体制ができています。区長、婦人会の来訪、地域の方からの野菜の差し入れ等、交流が深められている。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の人権を尊重し、生活歴を援助の視点に十分取り入れ、共感し、また、やすらぎのある生活、とプライバシー保護を重視した理念と方針が掲げられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関入り口の見やすい位置に理念が貼り出されている。日々、目を通せる体制がとられ、日常から理念を活かした取り組みがなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域とのつながりを持つことができるよう、敬老会、行事等の活動に参加し、地元の人々と交流する体制ができている。区長、婦人会の来訪、地域の方からの野菜の差し入れ等、交流が深められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をすることで再度確認をする体制がとられている。月1回のカンファレンスを行うなかで、職員自身の対応の見直しが図られている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、施設長、管理者のほか、地域の民生委員、区長等も出席し、サービスの取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	鳥栖市の介護保険課と行き来するなどして連携が図られ、サービスの質の向上に取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理は、家族等に定期的及び個々にあわせた報告がなされている。	○	職員の異動等についても家族に報告され、周知をはかることが期待される。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見、不満、苦情を無記名で言えるよう、苦情箱が設置されている。家族からの意見はすぐに検討され、運営に反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	勤務の交代を徐々に行い、環境が急に変わることのないよう配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、管理者や職員を段階に応じて、研修の回覧などして参加の啓発がなされている。	○	今後は、職員が無理なく研修に行くことのできる体制が期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	三神地区38施設の運営会議を通じ、勉強会が行われている。地区のグループホームネットワークづくりができている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	二泊三日の体験入居を利用されるなかで、無理なく入居の意思決定をすることができる体制がとられている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、言葉かけがなされている。本人から学んだり、支えあう関係を築くよう、楽しめたことなど記録に残し、職員がケアに活かすよう取り組まれている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとり、その日の状況に応じた生活のペースで過ごされるよう、見守りがなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族からの情報や希望をもとに担当者が介護計画をたて、全体でのカンファレンスで検討される。それぞれ意見や家族の意向を反映した介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化やサービス内容に変化が生じたときは、その都度介護計画の変更がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の要望は家族に伝え、家族の要望も本人の状況に支障がない限り応じられている。要望に応えられないときには、代わりの案を用意し、納得してもらう体制がとられている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療が必要となった場合には、家族へ相談し、その希望どおりに対応されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期のあり方について、早い段階から家族等ならびにかかりつけ医と連携し、全員で方針の共有がなされている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報個別保管され、施設管理が徹底されている。職員採用時に守秘義務誓約書が取り交わされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、必要時にはご家族にも協力してもらい、その日をどのように過ごしたいか、希望と意見を取り入れた楽しみのある生活支援がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを入居者と職員で決め、希望が取り入れられている。食事の準備や片付けを希望する入居者は、職員一緒に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援されている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者ができること、したいことを見つけ、出番と楽しみのある生活支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩など、希望に応じて安全に出かけられるよう、支援されている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組まれている。入居者行動掌握と見守りが十分になされ、地域連携も確立されている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地区の区長の支援があり、地域の協力体制が確立されている。また、消防署の立会いのもと、避難訓練等も定期的に実施するようになっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取の状況が把握され、一人ひとりの状態に応じた支援がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や光がないよう配慮され、季節感のある花や、節目に応じた飾り付けがなされている。生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるよう工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋の配置は入居者が使いやすいように工夫され、個人の状態に合わせて、危険防止にも配慮されている。		